全日本ブラックアンドホワイトショウで神奈川県の出品牛が日本一になりました！

第10回全日本ブラック&ホワイトショウ（全国ホルスタイン改良協議会主催）と2023セントラルジャパンホルスタインショウ（セントラルジャパンホルスタイン改良協議会主催）が静岡県の御殿場市馬術・スポーツセンターで共同開催され、４月14日（金）に未経産クラス、４月15日（土）に経産クラスの審査とチャンピオン決定戦が行われました。審査の結果、最高位であるグランドチャンピオンに伊勢原市の（有）徳晴牧場の柏木利彦氏（49）が９部（生後42～48か月齢の部門）に出品した「オークツリーＧＦＦベッカタトゥー」（２産）が選ばれました。本大会で神奈川県からの出品牛がグランドチャンピオンを獲得するのは初めてです。

全日本ブラックアンドホワイトショウは第１回が昭和56年に静岡県で開催されて以来、最近では５年に１回のペースで開催される歴史ある乳牛の品評会です。全国各地域の共進会、各都道府県のブラックアンドホワイトショウで上位に選出された乳牛が、都道府県ホルスタイン改良同志会を通して出品され、月齢に応じて分類された１部から12部ごとに厳正に審査され、最後に全ての部類の中から最高位であるグランドチャンピオンが決定されました。

今回、オフィシャル審査員はアルタジャパン（株）代表取締役の細野　淳氏、アソシエート審査員はオールジャパン・ブリーダーズ・サービス（株）統括部長の高藤　裕氏が務められました。24都道府県から未経産クラスで98頭、経産クラスで90頭、合計188頭と多くの出品がありました。体型と資質に優れたすばらしい乳牛が一堂に会し、円形歩行で審査員の審査を受ける様子は圧巻でした。オープンスペースではありますが、新型コロナ対策でマスクを着用した上で、会場には多くの関係者、見学者が応援に駆け付け、部類ごとの審査が終わり各部のチャンピオンが決まる度に盛大な拍手が送られるなど賑わいを見せていました。

グランドチャンピオンを獲得した本牛は、令和５年３月１日に開催された第43回伊勢原ホルスタインショーでグランドチャンピオンを獲得し、令和５年３月26日に開催された第51回神奈川県ブラックアンドホワイトショウでグランドチャンピオンを獲得し、本大会に出品されました。この間、牛を良好なコンディションに保ち続け、受賞に至ったことは高い飼養管理技術の証です。また、自家産の牛が高い資質を備えた牛として評価されたこと

本大会ではご紹介した牛の他に、本県から16頭の出品があり、２部で３位、５部で２位、６部で３位、７部で２位、９部で３位と上位入賞を数多く獲得しており、県内酪農家の努力が実を結ぶ結果となるなど、厳しい酪農情勢の中で明るいニュースとなりました。

畜産技術センターは、今回出品された乳牛の体型や資質の評価をふまえ、今後とも各農場の乳牛改良に向けた技術支援に努めていきます。

グランドチャンピオン受賞牛と出品者

表彰式後の記念撮影

農業高校生と記念撮影